

熊本高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	技術表現特論
科目基礎情報						
科目番号	AN202		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電子情報システム工学専攻		対象学年	専2		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	指導教員によりプリント等使用					
担当教員	教務係 (または非常勤講師), 永田 和生					
到達目標						
以下の目標のいずれかの項目について実施し、技術者としての日本語のコミュニケーション能力向上および技術者として必要な技能や経験を身に付けることができる。 【日本語の技術者コミュニケーション向上】 (1) 技術と文論文の読解・作成, 技術資料・計画書・仕様書の作成等の実施 (2) 日本語による技術プレゼンテーション, 展示会等説明の実施 【技術者として必要な技能や経験による技術者意識向上】 (3) もの作り (ソフト含む), コンピュータ環境準備・設定, 工場見学などの実施 (4) 文献調査, 特許調査・作成等の実施 (5) その他の技術者意識向上のための内容の実施						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 日本語の技術者コミュニケーション向上		技術と文論文の読解・作成, 技術資料・計画書・仕様書の作成や, 日本語による技術プレゼンテーション, 展示会等説明等を十分に実施できる。	技術と文論文の読解・作成, 技術資料・計画書・仕様書の作成や, 日本語による技術プレゼンテーション, 展示会等説明等を実施できる。	技術と文論文の読解・作成, 技術資料・計画書・仕様書の作成や, 日本語による技術プレゼンテーション, 展示会等説明等を実施できない。		
評価項目2 技術者として必要な技能や経験による技術者意識向上		もの作り (ソフト含む), コンピュータ環境準備・設定, 工場見学等や, 文献調査, 特許調査・作成等, その他の技術者意識向上のための内容を十分に実施できる。	もの作り (ソフト含む), コンピュータ環境準備・設定, 工場見学等や, 文献調査, 特許調査・作成等, その他の技術者意識向上のための内容を実施できる。	もの作り (ソフト含む), コンピュータ環境準備・設定, 工場見学等や, 文献調査, 特許調査・作成等, その他の技術者意識向上のための内容を実施できない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	技術者として日本語のコミュニケーション能力向上を行なうため, 技術と文論文の読解, 技術と文論文の作成, 技術資料・計画書・仕様書の作成, 日本語によるプレゼンテーション, 展示会等説明などについて技術的活動に必要な内容を実施する。 また, もの作り (ソフト含む), コンピュータ環境準備・設定, 工場見学, 文献調査, 特許調査・作成など技術者として必要な技能や経験等の技術者意識向上の実施も行なう。					
授業の進め方・方法	(1) 実施した内容の記録簿 (日付, 簡単な内容など) を各学生ごとに作成する。 (2) 実施した資料などをできるだけ一緒に保管する (特に多量の資料などは簡易な方法を考えて保管してもよい)。 (3) 本授業の終了時に, (1) の記録簿と (2) の保管資料はファイルに綴じて指導教員に提出する。					
注意点	授業計画の各種項目においては, 各指導教員の実施方針に基づいて, その全体を実施してもよく, あるいは一部を強制的に実施してもよい。実施方針は, 教員の指導対象内容と学生に効果のある教育方法を選定して行なっていく。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	技術者としての日本語のコミュニケーション能力の向上	論文 (和文論文等も含む), 報告書 (学内説明資料等も含む) など各種の資料を作成できる。		
		2週	同上	同上		
		3週	同上	同上		
		4週	同上	同上		
		5週	同上	同上		
		6週	同上	同上		
		7週	同上	同上		
		8週	同上	同上		
	2ndQ	9週	日本語による技術プレゼンテーション, 展示会等説明能力の向上	論文 (和文論文, 高専フォーラムなども含む), 報告書 (学内資料説明等も含む), 展示会の説明などで口頭発表することができる。		
		10週	同上	同上		
		11週	同上	同上		
		12週	同上	同上		
		13週	同上	同上		
		14週	同上	同上		
		15週	同上	同上		
		16週	同上	同上		
後期	3rdQ	1週	文献調査, 研究準備などへの技術者としての対処方法の実施	技術開発を行なうための文献調査能力を向上できる。研究準備など実行上の能力を向上できる。		
		2週	同上	同上		
		3週	同上	同上		
		4週	同上	同上		
		5週	同上	同上		
		6週	同上	同上		
		7週	同上	同上		
		8週	同上	同上		

	4thQ	9週	同上	同上
		10週	同上	同上
		11週	同上	同上
		12週	同上	同上
		13週	同上	同上
		14週	同上	同上
		15週	同上	同上
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	積極性	作成資料等実績	日本語能力の向上	相互意見交流	技術者意識向上	合計	
総合評価割合	40	20	20	10	10	100	
基礎的能力	20	10	10	0	5	45	
専門的能力	20	10	10	10	5	55	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	